



学校公開では、たいへんお忙しい中たくさんの先生方にご参加いただき誠にありがとうございました。「卒業生の進路講話」では、企業に就職した卒業生が来校して授業が行われました。その様子を偶然にも小学校の時に担任した先生に見ていただくことができました。立派に成長したその姿に涙を流され、感動されていました。卒業生自身も、お世話になった先生にお会いすることができてうれしかったと話していました。先生方からいただいたご意見やご感想を今後の取り組み等に生かしていきたいと思ひます。

学校公開【結果報告】

特別支援学校の授業を見に行こう！
～個に応じた支援、授業づくりをめざして～

★期 日 10/26 (木)
11/1 (水)
11/14 (火) 3日間開催

★参加者 通学区域内小中学校、
教育委員会の先生方
73名



(茨城新聞 11月3日付)

★ご意見、ご感想等

- ・個に応じた支援が素晴らしいと思ひました。子ども達がみんな席に着いて、落ち着いて学習していることに驚きました。
- ・自立活動について、一人一人の児童生徒に指導案があり、自立活動の手順シートについても教えていただきました。
- ・工夫を凝らされた教材教具の紹介が大変ありがたかったです。『Finger Board』について詳しく知りたと思ひました。
- ・高等部の総合的な探求の時間「卒業生の講話」を参観しました。職場で働くことの大切さや苦勞など、社会人として立派な姿を見せてもらいました。在校生の真剣な態度も立派でした。
- ・巡回相談や教員向けの研修会、学校公開で紹介された教材教具や書籍がとても役立っています。校内の先生方にも紹介していきたいと思ひます。

第2回 さかとくインクル協議会【結果報告】

新たな外部委員に、古河市障がい福祉課 係長 市川様をお招きし、第2回さかとくインクル協議会が開催されました。

「地域の特別支援教育における現状と課題」をテーマに、外部委員の方々からご意見をうかがうことができました。

★講話「県内小中学校の現状と課題について」

古河市立名崎小学校長 菊池 隆史 様

- ・県内の特別支援学級数について。全国的に見ても高い入級率。
- ・自立活動の授業における課題や通級による指導が十分に活用できていない現状。
- ・入級の必要性について様々な要因を見極める必要がある。等

★以下、協議内容を抜粋

★外部委員から

- ・自立活動の授業について、支援学校が後押しできるとよい。
- ・授業改善が必要。特別支援学校の指導や支援は、通常の学級にも生かせることがたくさんある。
- ・職員の交流は授業改善につながる。
- ・人材育成は重要な課題。支援学校と連携して、授業力や支援の向上につなげていきたい。
- ・巡回型の通級について、助言や協力をお願いしたい。

★スーパーバイザーから

- ・巡回相談の一場面より、問題行動の分析と対応について。
- ・適切な行動を学ぶ自立活動や SST の重要性。

今後の予定

★ Finger Board (タブレット端末アプリ) 研修会

- ・学校公開で紹介した **Finger Board** (タブレット端末アプリ) の研修会を実施します。
 - ・アプリを開発した Semiosis 株式会社のご協力のもと、【基本編】【応用編】を実施し、オンデマンドで配信。
- ※詳細については、改めてご案内いたします。



★ 第3回 さかとくインクル協議会

1/17日(水) 13:30～15:00

- 〈協議〉・今年度のまとめについて
職員の体験研修、アンケート結果、
学校公開、研修会 等
・次年度の目標と課題について

